



アドミッション・ポリシー

- 【体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生】
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生。
- 【自己表現ができる学生】
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生。
- 【新たな課題に挑む意欲のある学生】
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生。

カリキュラム・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で1.専門性の深化と充実、2.社会人としての豊かな教養の涵養、3.将来を展望し、勤労観・職業観を醸成できるための教育課程を編成しています。

ディプロマ・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

「課程」と「系」

本学は、教育目標の達成に向け、体育学部にはスポーツ総合課程及び武道課程を設定し、各課程の中に3つの系(柔軟なコース)を編成し、それぞれの専門に向けた勉学ができるようにしています。

スポーツ総合課程

(定員：120名)

武道課程

(定員：50名)

スポーツ総合課程の目標

スポーツ総合課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース。

生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネートやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース。



武道課程の目標

武道課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

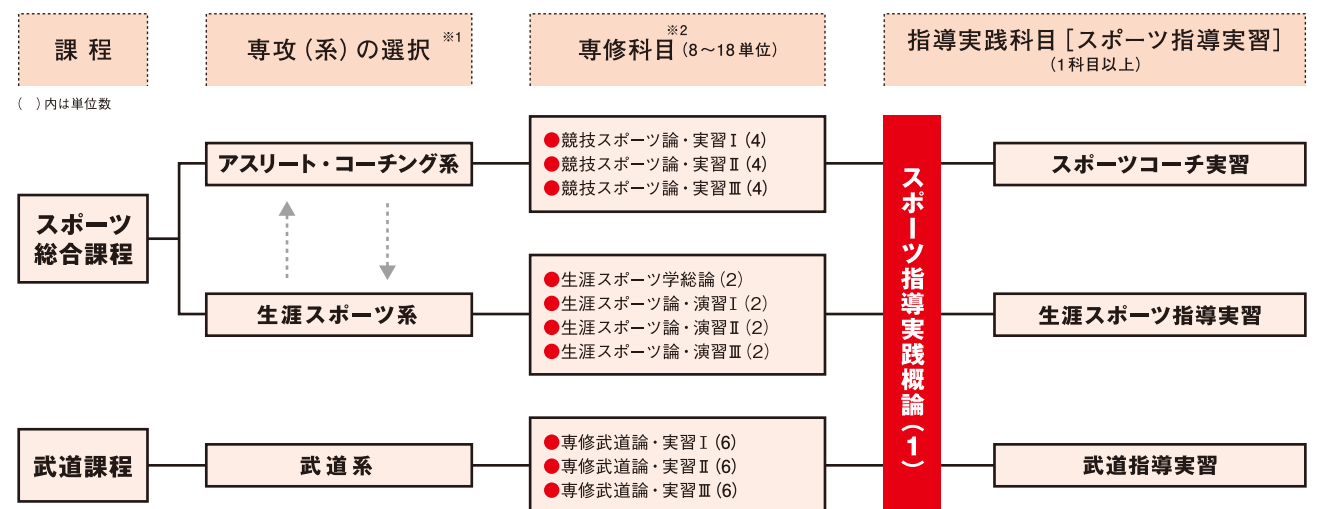
武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練形式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース。



専攻科目の系の選択

- ①スポーツ総合課程に所属する学生は、「アスリート・コーチング系」「生涯スポーツ系」より1系以上を選択し、履修します。
- ②武道課程に所属する学生は、「武道系」を履修します。



スポーツ指導実践概論(1)

スポーツコーチ実習

生涯スポーツ指導実習

武道指導実習

教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目（学期毎に単位が取れる科目）として設定しています。
ただし、一部の科目について、通年科目（1年間履修して単位がとれる科目）となっています。

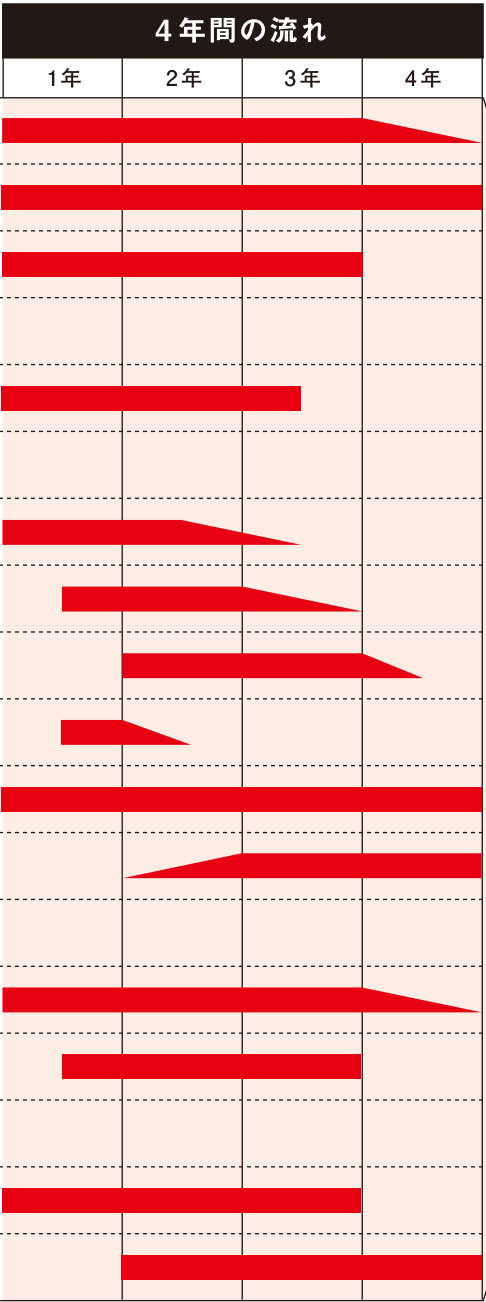
一 般 科 目	社会の一員として適切に振る舞う態度と豊かな教養、コミュニケーション能力を身につける科目
コミュニケーション科目	国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
社 会・文 化・自 然 科 目	社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
総 合 科 目	社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目
キャリア形成科目	スポーツリーダーとしての将来像と職業観・就業観及びキャリアデザイン力を醸成する科目
キャリアデザイン科目	スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
専 門 科 目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する専門的な知識、実技力、科学的支援力や表現的能力及び課題解決力を身につける科目
基礎科目A（人文・社会・自然系）	体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
基礎科目B（指導・普及系）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導や普及の基礎的な内容を理解する科目
応 用 科 目	国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目
実 験 演 習 科 目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目
関 連 実 技 科 目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目
ゼミナール（卒業研究）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける関心のあるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
専 攻 科 目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して年齢、目的等に応じた体系的な実技能力や事業運営力を身につける科目
専 修 科 目 （アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
指 導 実 践 科 目 （アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）	専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目
教 職 科 目	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許状を取得するための専門（教科）及び教職に関する科目
教 職	中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
専 門	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門（教科）に関する科目

また、授業科目は下表のように、履修（選択）の仕方により「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区 分	科目区分の特徴（ねらい）
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目



2019年4月から作成している、学生が本学の教育目標やディプロマ・ポリシーを身近に意識するとともに、自身の学びの目的・目標をより明確なものにするための“学びの極意”「鹿屋体育大学での4年間が充実する秘密の書」を2022年にリニューアルしました。詳しくは本学HPでご確認ください。



スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダー



授業時間

1. 学期と授業時間割

学年を前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～3月31日）に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週（試験を課す場合は16週）にわたって行います。

	第1時限 (90分)	第2時限 (90分)	第3時限 (90分)	第4時限 (90分)	第5時限 (90分)
開始	8:30	10:10	12:40	14:20	16:00
終了	10:00	11:40	14:10	15:50	17:30

前期：4月1日～9月30日
後期：10月1日～3月31日

授業は、左表のとおり行います。
集中講義や学外授業などを行うことがあります。

2. 休業日

休業日（授業を行わない日）は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。
① 週休日（土曜日・日曜日）及び国民の休日に関する法律に定める休日
② 開学記念日（10月1日）
③ 夏期休業日（8月5日～9月30日）冬期休業日（12月24日～1月9日）春期休業日（3月11日～3月31日）
④ その他大学が定めた日 注：休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります（集中講義等）。

3. 授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。また、授業は対面形式の他、遠隔形式で実施しているものもあります。
※情報活用能力の育成等のため、タブレットコンピュータを必携としております。

ゼミナール

ゼミナールは、少人数の学生が指導教員の下で、お互いに質疑討論を交わし、学習成果を発表しながら専門研究領域における知識を深め、研究方法を履修していく授業形態です。3,4年次の必修科目で、各指導教員により実施されます。ここでは、数あるゼミの中から3つを紹介します。

スポーツ・武道実践科学系 | 三浦 健ゼミ | 競技力向上へ取り組み、“実戦”場面で検証する

私たちのゼミでは、主にバスケットボール専攻生が在籍し、各自が設定した課題に対して取り組んだことがどの程度有効であったのかについて、“実戦”の場面で検証しつつ、競技力向上へ繋げていきたいと常々考えています。各自の課題に関連する論文や指導書、参考映像等を収集し、ゼミでディスカッションをし合うことによって課題が整理され、取り組み内容が明確になってきます。向上させたい課題を絞り集中して取り組む方が、漠然と取り組むよりも有効なはずです。「どうせ卒業研究を作るのなら、“実戦”に役立たせよう!」が我々のコンセプトです。



丸山 真輝さん (宮崎県立宮崎南高等学校出身・宮崎)

私は自身のバスケットボール審判員としてのパフォーマンスを向上させるために、このゼミを選びました。私は現在JBA公認B級審判資格を取得し活動していますが、日本では数少ない大学在学中でのA級審判資格取得を目指しています。このためには心理面、技術面の課題を追究することが重要です。上級審判の方々からご指導いただいた点や資格取得に有益な情報等を整理し、その都度記述することにより意識化し、自身の審判員としての技能を高めていきたいです。

スポーツ生命科学系 | 村田 宗紀ゼミ | カ学を通して身体運動のメカニズムに迫る

私たちのゼミでは、スポーツにおける身体運動を力学的に解析し、その機序を明らかにすることや、動作とパフォーマンスの関係性を明らかにする研究に取り組んでいます。ゼミ活動では研究テーマを学生自身が決めるため、様々な動作(たとえば、テニス、サッカー、体操、バスケット、陸上など)について、学生自身が測定したデータを基に議論します。そのため、自身の専門種目に留まらず「なぜヒトはその動作を行うのか?」、「上手い人の動作は何が違うのか?」、「良いパフォーマンスとは何か?」といったことを考える機会が多いことが当ゼミの特徴です。

郷原 大晴さん (鹿児島県立鹿屋高等学校出身・鹿児島)

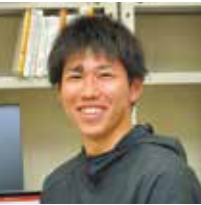
私は実際にスポーツの現場で起きている動作のメカニズムや、スポーツにおける正しい動作とはなにか、効率の良い動きとはどういったことを指すのか、についてより深く学ぶために当ゼミに入りました。現在は、本学の恵まれた研究設備と環境のもと、主に陸上競技の走動作についての研究を行っております。当ゼミでの研究や活動を通して、これまではただ眺めていたスポーツを、力学的根拠に基づいて観察する視点を持つことができ、より客観的にスポーツを見る力が身につきました。今後は走動作の分析をより深めていくと同時に、実用的なフィードバックの方法についても学んでいきたいと思っています。

スポーツ人文・応用社会科学系 | 和田 智仁ゼミ | スポーツ×テクノロジーの探求

スポーツにおけるテクノロジー活用が進んでいます。これまでトップアスリートやプロ選手だけが利用できた機器やシステムも、技術の発達や普及によってより広く利用できるようになっています。私たちのゼミではこれらのテクノロジーについて学び、スポーツで活用していくことを目指して研究に取り組んでいます。過去の卒業研究は慣性センサや衛星測位システムなどのセンサ利用やシステム開発、ゲーム分析やビッグデータ解析、VRを使ったスポーツトレーニングなど多岐にわたっています。個々の興味にもとづいたテーマに取り組むため、互いに刺激を受けつつ幅広いトピックについて学ぶことに繋がっています。

本間 諒一さん (和歌山県立日高高等学校出身・和歌山)

私は陸上競技の動作分析・フィードバックの手法を学ぶためこのゼミを選択しました。ゼミではスポーツを分析するために作られた様々な機器や分析方法を学ぶことができます。私自身も慣性センサなどを用いて動作分析を試みており、分析等は難しい部分も多いですがやりがいを感じています。ここで学んだ知識や知見は将来、選手のサポートや指導現場など「支える」スポーツとして活かしていけると考えています。



開設科目

一般科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
コミュニケーション科目	総合英語Ⅰ	1～4	コミュニケーション科目	韓国語	1	社会・文化・自然科目	生物化学論	4
	総合英語Ⅱ	1～4		国語・文章表現法	1		身体科学論	1
	総合英語Ⅲ (コミュニケーションのための英文法)	1～4		ドイツ語	1		環境論	3
	総合英語Ⅲ (英語多読・多聴)	1～4		フランス語	1		社会にでるための経済学	3
	総合英語Ⅲ (健康とスポーツ関連の英語)	1～4		日本語演習Ⅰ	1		バイオメカニクスを学ぶための物理数学	1
	総合英語Ⅳ (アクティブリーディング)	1～4		日本語演習Ⅱ	2		九州学 (歴史・文化)	1
	総合英語Ⅳ (スポーツ英語)	1～4		日本事情	1		九州学 (産業・社会)	1
	総合英語Ⅳ (日常会話)	1～4		現代日本事情	2		九州学 (自然)	1
	総合英語Ⅳ (プレゼンテーション入門)	1～4		各国文化研究	1～4		九州学 (環境・生命)	1
	総合英語Ⅴ (Q&Aのテクニク)	1～4	社会・文化・自然科目	総合英語Ⅴ (Q&Aのテクニク)	1	総合科目	総合演習A	1
社会・文化・自然科目	総合英語Ⅴ (海外留学)	1～4		人権論	1		総合演習B	3
	総合英語Ⅴ (アクティブコミュニケーション)	1～4		ジェンダー論	1		情報処理A	1
	総合英語Ⅵ (オリンピック)	1～4		歴史学	2		情報処理B	2
	総合英語Ⅵ (異文化コミュニケーション)	1～4		社会学	2		情報処理C	3
	総合英語Ⅶ (海外で暮らす)	1～4		日本国憲法	1		プレゼンテーション・討論Ⅰ	2
	総合英語Ⅶ (実践プレゼンテーション)	1～4		日本文化論	1		プレゼンテーション・討論Ⅱ	3
	中国語	1		異文化理解	3		交流リベラルアーツ	1～4

キャリア形成科目

科目	キャリアデザイン		科目	キャリアデザイン		科目	キャリアデザイン	
キャリア	キャリアデザインⅠ	1	キャリア	キャリアコミュニケーション	3	キャリア	キャリア対策セミナー (一般企業)	3
	キャリアデザインⅡ	1		企業実習1週	2～3		キャリア対策セミナー (公務員)	3
	キャリアデザインⅢ	2		企業実習2週	2～3		ボランティア活動	1～4
	キャリアセミナー	3		キャリア対策セミナー (教員)	3			

専門科目

基礎科目	A	解剖生理学	1	応用科目	スポーツ文化論	2	関連実技科目	卓球①	1
		体育学概論	1		スポーツトレーニング実践論	3		卓球②	3
		体育・スポーツ史	1		スポーツ政策論	3		バドミントン	3
		健康教育学	1		武道文化論	3		ソフトボール①	2
		運動生理学	1		身体発育発達・老化論	2		ソフトボール②	3
		スポーツ栄養学	2		スポーツ戦術実践論	3		ダンス	3
		スポーツ社会学	2		スポーツ調査法	3		柔道	1
		スポーツマネジメント概論	2		スポーツビジネス論	3		剣道	1
		生涯スポーツ学概論	1		体育・スポーツ統計学	3		エアロビックダンス①	1
		スポーツ心理学	1		スポーツマーケティング論	3		エアロビックダンス②	4
基礎科目	B	バイオメカニクス	2	実験演習科目	運動処方論	3	関連実技科目	ジョギング&ウォーキング	3
		衛生学・公衆衛生学	2		応用スポーツ心理学	3		生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1
		スポーツ医学	3		イベント管理学概論	3		アウトドアスポーツ実習 (夏季)	2
		救急処置論・実習	2		ヘルスプロモーション論・実習	3		アウトドアスポーツ実習 (冬季)	2
		トレーニング科学概論	2		スポーツ国際開発論	2		海洋スポーツ	2
		スポーツメンタルトレーニング論	2		スポーツパフォーマンス研究論	3		ラグビー①	1
		運動学概論	2		救急法実習	1～4		ラグビー②	2
		学校保健	2	実技関連科目	体育学実験Ⅰ (運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)	1	ゼミナール	ゴルフ	4
		スポーツと法	3		陸上・体操・水泳	3		なぎなた	4
		コーチ学概論	2		バスケットボール	1		相撲	2
		障がい者スポーツ論	3		サッカー	1		弓道①	2
		武道学概論	1		バレーボール①	3		弓道②	3
応用科目		コンディショニング論・実習	2		バレーボール②	4		野外活動	2
		生涯スポーツ実践論	3		テニス	2		体カトレーニング	1
		武道史	2					ゼミナールⅠ	2
		運動生化学	2					ゼミナールⅡ	3
		アスレチックトレーナー論	3					ゼミナールⅢ	4
		アスレチックトレーナー実習	4					卒業研究	4
応用科目		スポーツ産業論	2						

専攻科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	
専修科目	アスリート・ コーチング系	陸上競技	1～4	専修科目	競技スポーツ論・実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	1～4	専修科目	生涯スポーツ論・実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2	指導実践科目	スポーツ指導実践概論	1
		水泳	1～4		海洋スポーツ	1～4		健康・体力論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2～3		スポーツコーチ実習	3
		体操競技	1～4		自転車競技	1～4		野外教育論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2～3		生進スポーツ指導実習	3
		バレーボール	1～4		野球	1～4		専修武道論・実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	1～4		武道指導実習	3
		バスケットボール	1～4		生涯スポーツ学総論	2		柔道	1～4		SCO-OP実習	3～4
		サッカー	1～4		生涯スポーツ論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2～3		剣道	1～4			
		テニス	1～4		コミュニティ・マネジメント論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2～3						

教職科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
教職科目	教師論	1	教職科目	特別活動論	3	教職科目	生徒・進路指導論	3	教職科目	保健体育科教育法Ⅲ	3
	教育心理学	2		教育方法・技術	2		教育相談・カウンセリング論	3		保健体育科教育法Ⅳ	3
	特別支援教育	1		学校と教育の歴史	1		教育課程論	2		教育実習Ⅰ	4
	道徳の理論と指導法	3		教育法・教育行政	2		保健体育科教育法Ⅰ	2		教育実習Ⅱ	4
	総合的な学習の時間の指導法	3		介護等体験	2		保健体育科教育法Ⅱ	2		教職実践演習 (中・高)	4

取得可能な資格

[1] 本学で取得できる教育職員免許状 ●中学校教諭一種免許状 ●高等学校教員一種免許状 ※本学の授業科目の履修によって取得することができます。

[2] 本学で取得できる資格・受験資格等

【スポーツ指導基礎資格】●スポーツリーダー 【競技別指導者資格】●コーチ1 ●コーチ3 ●教師 【フィットネス資格】●ジュニアスポーツ指導員 ●スポーツプログラマー 【マネジメント資格】●アシスタントマネジャー 【各種加盟団体等の資格】●日本サッカー協会公認C級コーチ ●全日本剣道連盟公認社会体育指導員 (初級) 【健康運動実践指導者】 ●健康運動実践指導者 【健康運動指導士】 ●健康運動指導士 【その他の資格等】 ●イベント検定 ●レクリエーション・インストラクター ●レクリエーション・コーディネーター ※資格取得のためには、本来は各種加盟団体が実施する講習会を受講し、検定試験に合格しなければなりません。本学は課程認定を受けていることから、指導者資格ごとに指定された本学の授業科目を履修すれば、講習会の一部が免除されます。

在学生からのメッセージ

私の時間割<3年前期>

	月	火	水	木	金
1限		運動処方論	アスレチック トレーナー論		スポーツと法
2限	生徒・ 進路指導論	陸上・体操・ 水泳	ダンス		
3限	保健体育科 教育法Ⅲ			キャリアコミュ ニケーション	武道文化論
4限					専修武道論・ 実習Ⅲー剣道
5限		学校と教育の 歴史			専修武道論・ 実習Ⅲー剣道

集中講義：ゼミナールⅡ 学外実習：武道指導実習（剣道）、介護等体験
 ■平成31年度入学AO(SS)入試 ■中村学園女子高等学校出身・福岡

SENNO Maika



妹尾舞香
武道課程4年

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

指導者の先生方が素晴らしい、剣道に集中できる環境が整っていると思ったからです。

Q2：今頑張っていること、目標は？

勉強と剣道の両立です。剣道で日本一になるという目標はもちろん、勉強も疎かにせずに一生懸命取り組んでいきたいです。

Q3：好きな授業はなんですか？

ダンスの授業です。私は運動音痴で今までダンスはできないし出来れば 싫다고 と思っていました。しかし、鹿屋体育大学のダンスの授業はとても楽しく好きになりました。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は、自分のしたい事に集中して取り組める環境が整っていて、授業では多くのスポーツをする事ができるとてもいい大学です。私も鹿屋体育大学に来て良かったなと思っています。鹿屋体育大学を目指しているみなさん！鹿屋の地で一緒に勉強も課外活動も頑張りましょう！

私の時間割<2年後期>

	月	火	水	木	金
1限			保健体育科 教育法Ⅱ	総合英語Ⅳ (スポーツ英語)	トレーニング 科学概論
2限	教育方法・ 技術			スポーツ 産業論	
3限	テニス		学校保健		衛生学・ 公衆衛生学
4限	キャリアデザインⅢ 教育課程論	情報処理B	運動学概論 コーチ学概論		競技スポーツ論・ 実習Ⅱー水泳
5限		特別支援教育			競技スポーツ論・ 実習Ⅱー水泳

学外実習：介護等体験

■令和2年度入学(推薦入試) ■三重県立桑名高等学校・三重

Ito Kano



Q1：なぜ鹿屋体育大に？

国立大学で唯一の体育大学という点、競技に真剣に取り組める環境が整っている点、中学校・高校の保健体育の教員免許が取得できる点に惹かれて本学への入学を決めました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

課外活動である水泳を頑張っています！インカレで少しでもよい成績を残すことが目標です。また課外活動を通して競技力だけでなく、人間としても成長できるように取り組んでいます。

Q3：好きな授業はなんですか？

スポーツ産業論の授業です。スポーツ産業の歴史やスポーツに対する新しい見方を学びました。他にも楽しい授業がたくさんあり、自分の視野を広げる事ができます。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は、自然豊かな環境で課外活動や勉強に集中して取り組める場所です。スポーツに関して学びたい人や、競技力を向上させたい人にぴったりの環境が整っています。こんな鹿屋体育大学で目標に向かって一緒に頑張っていきたいです！

伊藤香乃
スポーツ総合課程3年

MESSAGES FROM STUDENTS

大園倫太郎
スポーツ総合課程2年

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

体育・スポーツに関する研究がしたいと思い、研究施設が十分に整っているほか、国立大学唯一の体育大学というところに惹かれ、入学しました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

課外活動と勉強の両立を頑張っています！課外活動は全日本インカレに出場すること、出雲駅伝に出場することで、勉強は本や論文を読んで学んだことを、人に教えられるようにすることを目標に頑張っています！

Q3：好きな授業はなんですか？

運動生理学です！高校時代から生物の授業が特に好きでしたが、それを体育やスポーツの視点から学ぶことができ、すごく面白い授業です！

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

どのスポーツにおいても全国トップクラスの選手が集まるので、日常生活から色々な刺激や学びをもらえます。体育やスポーツの分野に興味や夢を持っている皆さん、ぜひ鹿屋体育大学で一緒に頑張りましょう！



Ozono Rintaro

私の時間割<1年前期>

	月	火	水	木	金
1限	総合英語Ⅳ (スポーツ英語)		体育学概論	体育・ スポーツ史	
2限		ジェンダー論			情報処理A
3限		健康教育学	学校と教育の 歴史	キャリア デザインⅠ	総合演習A
4限	剣道		身体科学論	ドイツ語	競技スポーツ論・ 実習Ⅰー陸上競技
5限					競技スポーツ論・ 実習Ⅰー陸上競技

■令和3年度入学(一般選抜) ■鹿児島県立鹿児島中央高等学校出身・鹿児島

馬場 琉玄

武道課程2年

Q1:なぜ鹿屋体育大に?

スポーツ・武道の理論や身体の仕組みについて深く学習できるカリキュラム・施設が整っており、充実した学習ができたからです。また私の地元である鹿児島から出たくないということも理由の1つです。

Q2:今頑張っていること、目標は?

本学での学習のなかで栄養学について興味を持ち、それに関する論文に触れてみるなど自分なりに取り組んでいます。今の目標は、スポーツ栄養学について研究することです。

Q3:好きな授業はなんですか?

総合英語の授業です。私は近い将来海外留学を経験したいと考えており、そのために日々勉強に取り組んでいます。一口に英語と言っても本学の英語の科目には、スポーツ英語や日常会話、海外留学など様々な分野に分かれており自分が興味のある分野の英語を学ぶことができます。

Q4:鹿屋体育大を目指す人に一言!

鹿屋体育大学は自然豊かな環境、充実した施設に恵まれており、学習やスポーツに励むには最適な場所です。これまで自分が触れてこなかった新しい興味・関心にきっと出会えるでしょう。ここ鹿屋体育大学を志望する皆さん、ぜひ一緒に学びましょう!



BABA RÜGEN

中 島 海了

スポーツ総合課程4年



NAKAJIMA MINORI

Q1:なぜ鹿屋体育大に?

きっかけは、短大の先生(OG)からのすすめでした。短大時代、生涯スポーツを専攻していたので、今までの学びを活かせる大学に進みたいと思ったことや奨学金の継続などを考え、国立大学の中で唯一の体育大学である本学への編入を決断しました。

Q2:今頑張っていること、目標は?

現在は、学外活動(アルバイト)に力を入れています。子供たちの指導をするアルバイトを行っており、課外活動団体に所属していない分、学外活動ではマネジメントやコーチングなど大学で学んだことを実践に移し、子供たちを通して新たな気づき・学びに繋げることを努力しています。

Q3:好きな授業はなんですか?

一番好きな授業はマネジメントの授業です。スポーツに関連する様々な問題を知ることができ、自分自身の知見が広がったと思います。また、関連実技の授業では、経験したことがないスポーツや武道(弓道など)を学ぶことが出来るので、とても貴重な体験になると思います。

Q4:鹿屋体育大を目指す人に一言!

編入学は、2年という短い期間ではありますが、その中で実技だけでなく、スポーツを多方面から沢山学ぶことが出来るので、充実した2年間で過ごせると思います。課外活動団体への所属の有無に関わらず、学年の壁を越えた学生同士の繋がりが持てる大学です。また大学内だけでなく、学外での活動や地域交流など、自然豊かな鹿屋だからこそ学べることも多くあります。少しでもスポーツや武道、また鹿屋に興味を持つ人がいたら、ぜひ私達と一緒に学びましょう!



私の時間割<1年前期>

	月	火	水	木	金
1限		スポーツ心理学			運動生理学
2限		スポーツ指導実践概論 キャリアデザインII			特別支援教育
3限			体育学実験I	日本国憲法	武道学概論
4限		バスケットボール	体育学実験I	教師論	専修武道論・実習Iー柔道
5限		総合英語IV(アクティブラーニング)	体育学実験I		専修武道論・実習Iー柔道

集中講義:倫理・哲学

■令和3年度入学(一般選抜) ■れいめい高等学校出身・鹿児島



私の時間割<3年後期>

	月	火	水	木	金
1限			障がい者スポーツ論		教育相談・カウンセリング論
2限		スポーツ指導実践概論	スポーツ調査論	スポーツ産業論	生涯スポーツ論・演習Iーコミュニティ・マネジメント
3限			体育学実験I	弓道	生涯スポーツ論・演習Iーコミュニティ・マネジメント
4限		剣道	体育学実験I		
5限		学校と教育の歴史	体育学実験I		

集中講義:ゼミナールII

■令和3年度入学(第3年次編入)

■金光八尾高等学校出身・大阪、武庫川女子大学短期大学部健康・スポーツ学科・兵庫